

株式会社フジムラ製作所

情報通信技術 (ICT) を用いた “デジタル板金工場” で成長中

— 人事評価などをシステム化し働きやすい環境を整備

記者の目

ここに注目

▶ 新入社員も働きやすい環境を整備

▶ 年に2回の社長面談でモチベーション向上

多種多様な産業が栄える埼玉県川口市。同市に本社を構えるのがフジムラ製作所だ。本社工場を訪問すると、“デジタル板金工場”と言われる近未来的な空間に驚く。工場は本社工場、第一工場、そして第二工場に分かれており、各工場のフロアごとに大型スクリーンを設置。スクリーンに目を向けると、その日にやるべき業務内容や進行状況が分かり、新入社員でも仕事の全体像をつかむことができる。

デジタル化により業務内容などを可視化しただけでなく、梱包作業などを行う本社工場2階では、タブレット端末を片手に最終製品に異常がないかを確認する。他にも、社員同士の連絡手段にはビジネスチャット「LINE WORKS (ラインワークス)」を用いる。端末は同社が社員に貸与しているという。藤村智広社長は、「デジタル

化の推進により、製造業=3K(きつい・危険・きたない)という印象を拭い去りたかった」と話す。

デジタル化で働き方改革

同社は、約5年前から本格的にデジタル化を始めた。「生産性の向上につなげるための『見える化』ができてきている」(藤村社長)という。見積書のシステム化から着手し、年金制度の変更による退職金の見える化を実施。2020年7月からは人事評価システムを運用しており、年功序列ではなく、仕事内容の評価や貢献度によって給与を決める。こうした働き方改革のいかもあってか、「過去3年間で離職したのは2人」(藤村社長)という。

デジタル化の他にも働きやすい環境を整備するため、2019年に本社を移転した。3階には緑色を基調とした休憩スペースがある。コンセントを完備し、コーヒーマシンを置いてあるほか、一角でチンチラのコタローを飼うなど、社員の気分転換の場所になっているようだ。

また、工場内の環境にも気を遣っており、空調管理も万全だという。工場を訪れた顧客からは、「まるで図書館みたい」と言われたことがあると藤村社長は話す。

育児休暇制度や有給休暇制度などはもちろん、資格取得のための費用を負担するなど社員教育にも力を入れる。人材育成制度の具体的な取り組みとして、毎年6月に教育訓練実施計画を立てるとい

う。1年間かけて目標の達成を目指し、取得したい資格や身に付けたい技術を見える化する。すでに取得した技能も一目で分かるようになっている。

計画表は社内に掲示されている。誰もが閲覧できるようにすることで、身に付けた知識を実践に生かせるように促す。社員は計画を基に中間評価と期末評価の2回、社長と面談する。「中間評価をすることで、下半期のモチベーション向上につなげたい」と藤村社長は話す。

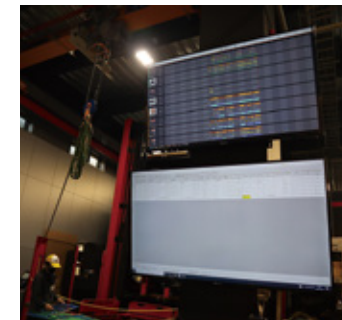
変化への素早い対応

同社の強みは変化への対応の早さ。藤村社長は「同じ事は続いても3カ月。4カ月目は違うやり方を採用することもある」という。新型コロナウイルス感染拡大期には、子どもがいる社員のために在宅勤務制度を導入した。「新型コロナがIT化を促した側面もある」と藤村社長はみている。さらに、「若さ」も同社の強みだ。20~30代の社員が全体の約85%を占める。こうした特徴は、同社の成長スピードを支える要因の一つとなっている。

同社は中途採用で入社した社員が9割を占めるものの、新入社員の雇用にも積極的な姿勢をみせる。藤村社長は、新入社員に求める素質として、「図面が読めれば仕事に直結する」としながらも、「営業担当も含め、モノづくりに



タブレット端末を見ながら製品を確認



本社工場。スクリーンには進捗状況などを表示



本社3階では工場内の様子が一目で分かる

興味があることが大切だ」という。2020年に入社した大本達也さんも「入社後に専門知識を学べる環境があるので、入社前の時点では『向上心』が求められるのではないかと話す。

藤村社長が重視するのは、「働きやすい環境」。新型コロナ禍でも基本給の底上げを行った。また社員同士の交流を促すため、イベントを開くこともある。藤村社長によると、「新型コロナが原因で

2020年はイベントの開催が難しかったが、18年には社員旅行で伊香保温泉に行った」そうだ。「楽しく、笑顔で働くことができるように」をモットーとする町工場を目指す。

理系出身の若手社員に聞く

モノにも人にも目を配れるようになりたい

ベンディング課 兼 第一工場製造課グループ主任
大本 達也さん (2020年入社)

2020年1月中旬に入社しました。前職では精密板金加工を手がけていました。入社前の工場見学で藤村社長とお話し、「成長したい」という気概を感じて入社を決意しました。入社して驚いたのは、品質の高さです。社員一人ひとりの意識の高さに支えられていると思いました。現在は主に板曲げ加工を行っています。2~3メートルほどの板は加工時にそり返すことが多いため、1個の加工に対し半日ほど時間をかけた経験もあります。思い通りにいかない面白さがあり、最終的に形になったときにやりがいを感じます。主任という立場なので今後はモノだけでなく、人にも目を配れるようになりたいですね。



会社DATA

本社所在地：埼玉県川口市領家3-12-10

設立：2000年12月

代表者：代表取締役 藤村 智広

資本金：2000万円

従業員数：70名

事業内容：各種精密板金加工、NCタレットパンチング加工、レーザー加工、NCベンディング加工、プレス加工、スポット溶接、各種溶接、カシメ加工

URL：https://www.fujimurass.com/



代表取締役
藤村 智広さん